

# 私と胃癌

## 山岸 久一

Hisakazu YAMAGISHI

京都府参与  
京都府地域医療支援センター長  
京都府立医科大学名誉教授

### [経歴]

1969年 京都府立医科大学卒業、京都府立医科大学第2外科に所属  
1979～81年 米国テキサス大学ヒューストン校 外科, Special Research Fellow  
1986～88年 京都府立与謝の海病院外科医長  
1988年 京都府立医科大学第2外科助教授  
1998年 同 第1外科教授  
1999年 同 消化器外科教授 (大講座制機構改革)  
2002～4年 京都府立医科大学附属病院長  
2005～11年 同学長  
2012年 現在に至る

### [趣味]

写真撮影

### [座右の銘]

「他者の為に奉仕する」

## 第6回

# 術中癌細胞の血流内散 布の防止と胃全摘後の 機能温存再建術式を考 える

## はじめに

循環血流中に存在する癌細胞 (CTC: Circulating Tumor Cell) については、リキッドバイオプシーとして各種臓器癌の診断上の意義に注目されているが、手術操作によって血中の CTC が増加することを、外科医として十分に知りながら手術に臨むべき点を現職教授の時には、教室の先生たちに耳が痛くなるほど言い続けてきた。癌を治療すべき外科系医師が、手術操作によって循環血流中に癌細胞を散布したり、リンパ管内に癌細胞が存在する症例では、手術操作中にリンパ管を切り離すことで、術野と癌